

教育むさしむらやま

こども版 **5**
2・3ページ

コミュニティ・スクールを生かした

地域とともにある学校・特色ある学校づくりを推進します

一 中 校 区

第一小学校



押本純樹 校長



久朗津朋子 副校長

昨年度は、開校110周年で大変お世話になりました。そして、今年度は111周年。1小としては、より記念すべき年なのかもしれないという思いに駆られ、「1(one), 1(one), 1(one)」の響きに一人一人を大切にする思いを込め、新たな歴史を築きます。

第九小学校



吉成かおる 校長



吉岡明子 副校長

子供たちの「できた！分かった！たのしい！」を引き出す教育活動に努めます。
また、大人が育てるだけでなく、子ども同士がともに考え、成長し合う「異学年交流」を、大切にしていまいます。

第一中学校



森元隆之 校長



小田貴弘 副校長

今年度より校長に着任した森元隆之と申します。前任の島田校長先生が築かれたことを礎に、ゼロカーボンシティ教育とまちづくり学習を推進し、第一中学校の更なる発展と本校全ての生徒の健全なる育成に尽力します。よろしくお願ひします。

第三中学校



飯星健司 校長



宮田聖一 副校長

ゼロカーボンシティ実現に向けてのまちづくり学習、ICT教育やNIE教育等を推進し、地域と協働して、生徒の良さをさらに伸ばす学校を目指します。また、チャレンジクラス・サポート教室拠点校として更なる充実を図っていきます。

三 中 校 区

第三小学校



佐々木琢 校長



田島照久 副校長

「よいまちはよい学校を育て、よい学校はよいまちを創る」。温かい地域の皆様とともに、子供が真ん中にくる地域づくりのキーステーションとなってまいります。また、持続可能な社会の作り手を育むための基礎となる教育の充実に尽力してまいります。

雷塚小学校



赤坂弘樹 校長



壽田牧子 副校長

「人を大切にする学校」をモットーに、自分のことを大切に思い、友達や周りの人を大切に育てる児童の育成を目指します。「まちづくり学習」を通して、学んだことを自分の生き方や地域・社会に役立てようとする豊かな人間性を養っていきます。





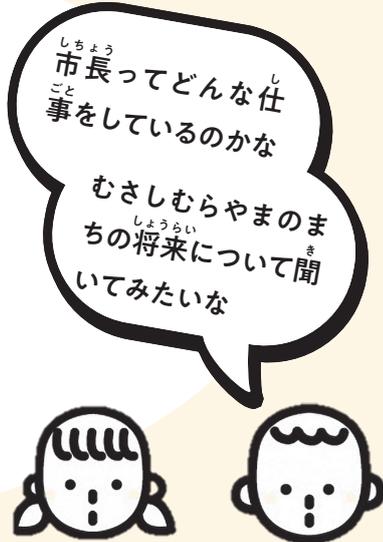
市長×子ども記者

いまだから ききたい 50 のしつもん

3月16日(日)に執行された市長選挙を経て、記者に扮した小学5年生たちが市長の就任記者会見に臨みました。

きょう 教育むさしむらやま 5 ことども版

前回は、わたしたちの考えを伝える
大事な機会“選挙”のことについてお伝えしました。
今回は、皆さんのまちのリーダー“市長”に対して
子ども記者とインタビューしました。
いっしょに、むさしむらやま市のまちづくりを考えていきましょう。



市長ってどんな仕事をしているのかな
むさしむらやまのまちの将来について聞いてみたい

▶▶▶50の質問のつづきはコチラ



市長になった気持ちを教えてください(くったんさんほか3名)

新しい時代へと向かう、武蔵村山市政を任せてもらうことはとても嬉しく、同時に、責任の重さに身の引き締まる思いです。

市長になってやってみたいことはなんですか(バンドマンさんほか4名)

市長となつて2期目となるこれらの4年間は、多摩都市モノレールの市内延伸に向けた取組に注力し、市内にできる5つの駅ごとに特色のあるまちづくりを進めていきたい。また、子育て支援や企業誘致、市役所のDXを推進し、「新しい武蔵村山」を具現化していきたいと考えています。

市長の仕事は楽しいですか(めろんさんほか4名)

大変なことはたくさんありますが、市民の皆さんの生活がよりよくなる仕事はやりがいと、達成したときの喜びを感じます。

好きなスポーツは何ですか(スポーツ大好き5年生さんほか5名)

若い頃に、少林寺拳法を習っていた、正拳士四段を保持しています。たまにゴルフをやったりしています

が、市長としての公務があるので、中々趣味にかけける時間はないので実情です。

多摩都市モノレールはいつ延伸しますか(つばチャンネルさん ほか16名)

— 東京都は、2030年代半ばの開業を目指して、頑張つて準備を進めています。皆さんが大人になって少し経つたら、武蔵村山市から多摩都市モノレールでお出かけできるよ

うになると思っています。
モノレールの駅にかつどんのお店をつくることはできますか(たまご大統領さん ほか1名)

— 駅の構内にお店をつくることは難しいかもしれませんが、つくること

ができれば、武蔵村山市のおいしいうどんを、いろいろな人に食べてもらえる機会が増えるので、良いアイデアだと思います。
駅の名前は決まっていますか(せりまのさん)

— 駅の名前は、まだ決まっていますせん。今後、多摩都市モノレール株式会社

が、決め方や決める時期などを考えていくようです。
学校は増えますか(村山大好きさん)

— いまのところ増える予定はありませんが、多摩都市モノレールが延伸して人口が増えれば、学校が増える可能性もあるかもしれないですね。
モノレールができれば乗りますか(きなことさん)

— その日が来るのを、待ち望んでいます。
今と昔の武蔵村山ですごく変わった場所などはありますか(ハリーポッター好きさん)

— 昭和20年頃と比べて、市全体に住宅が建ち、大きく変わったと言えます。特に新青梅街道より南側はほぼ畑や雑木林でしたが、今では住宅地や工場が建つていて昔の面影はありません。その中でも大南地区は、戦時中に少年飛行兵学校がありました。戦後、今は住宅が建ち並んでいます。榎地区は、戦後自動車工場が建ち今は商業施設や病院、宗教団体の施設となっています。緑が丘は、都営住宅となり、現在はその建て替え事業の最中です。
市役所は新しくなりますか(マリオメーカー2ううさん)

— 今回の市役所は、建ててから47年になります。新しい市役所は、イオンモールの南側にある市の土地に建てる予定ですが、たくさんのお金が必要なので、貯金をしながら、いつにするか決める必要があります。
武蔵村山の知名度についてどう思いますか(チキンさん ほか2名)

— 武蔵村山市の知名度は東京都の中でも低いという話も一時期ありましたが、観光大使をはじめ、多くの皆さんの力もあり、最近では少しずつ知名度が上がってきたのではないかなと思います。
これから武蔵村山市をどんな市にしたいかの展望をきかせてください(NIKEさん ほか3名)

— これまでの4年間、市長として、武蔵村山市を「日本一住みやすいまち」という想いで、職務に邁進してきました。2期目となる今後の4年間は、多摩都市モノレールの2030年代半ばの開業を見据え、新駅を中心とした沿線まちづくりを進める必要があります。
また、子育て支援をはじめ、災害対策、教育など様々な分野において、市民の願いを実現し、「日本一住みやすいまち」を築きたいと考えています。



市長や子ども記者の仲間とオリジナル名刺を交換。最後は全員で写真を撮り、和やかに握手で終了しました。

市内の小学生に一言お願いします(子ども記者)

— 多摩都市モノレールが市内に延伸する頃は、皆さんは大人になつていきます。皆さんでこの武蔵村山市をさらに住み良い市にしていただきたいと思っています。

みんなのこえをきかせてね



子ども版アンケートはこちら

施設一体型小中一貫校

小中一貫校村山学園



井内潔 統括校長



田村秀明 副校長



志村雅巳 統括副校長



西伸一郎 副校長

創立16年目を迎えました。義務教育9年間における系統的・機能的な学びを通して、「自ら学ぶことができ、基礎的・基本的な学力が身に付いている子」「自分で考えることができる子」「自分で判断することができる子」の育成を目指します。



施設隣接型小中一貫校

小中一貫校大南学園

第七小学校



川口周作 校長
(大南学園 副学園長)



齋藤剛 副校長

本校では、昨年度より都の指定を受けた体育・健康教育に取り組んでいます。これまで、取り組んできたまちづくり学習や食育の学習、広い校庭を活用した様々な運動体験を通して、児童一人一人の体力、健康の増進に努めてまいります。

第四中学校



福泉宏介 校長
(大南学園 学園長)



近藤竜也 副校長

本校は校訓「自主創造」の下、生徒が安心・安全に学び、知を磨き、徳を積み、体を鍛え、社会的自立をしていける生徒を育てます。小中一貫校として第七小学校とも連携し、保護者・地域の皆様と手を携えて教育活動を進めてまいります。

第二小学校



細田真司 校長



服部拓美 副校長

未来社会を創るために必要な力とは何か、教員や地域・保護者の方々と考え、実践していく学校を目指します。そのため、まちづくり学習は重要な教育活動です。ミカン農園、村山大島紬、地域のお囃子など、魅力的な教育環境を活用します。

第八小学校



井口洋 校長



東高央 副校長

本年度より第八小学校に着任いたしました。これまでの第八小学校の伝統を引き継ぎながら、ABCの学校「A(当たり前のこと) B(ばかにせず) C(ちゃんとやる)」を目指して参ります。どうぞよろしくお願いいたします。

五中校区

第十小学校



今井一馬 校長



水間信護 副校長

今年度、特別支援学級の「めじろ学級」と「つばめ学級」が開設されました。新たな仲間を加え、昨年度から取り組んでいる1コマ40分授業と「個別の時間」を更に充実させ、自立と探究のサイクルを勢いよく回していきます。

第五中学校



大野博史 校長



渡邊功 副校長

令和7年度は、本市の「特色ある学校づくり推進校」の2年目となります。研究テーマである「生命尊重と思いやりの心の育成」を目指し、校内での授業実践や校外でのボランティア活動等、様々な実践を通して研究を更に進めていきます。